

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム ねむの樹
日付	平成18年3月31日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：介護経験歴6年 大学教員
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

外部評価の結果

<p>概評</p> <p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>これまでの個々の入居者の自叙伝の結びを綴れるように、過去を否定せず安全でのんびりした「普通の生活」を目指しています。日常生活の流れは、入居者が中心で、入居者の意に反したレクリエーションやリハビリが押し付けられることはありません。喫煙、飲酒も可能で、昼間は玄関も施錠されていません。お風呂も希望者は日曜日と水曜日を除けば毎日入ることもできます。管理者は、大規模施設でできない暮らしを実現しようとする意欲にあふれています。経営者は、管理者の自主性を尊重しながらもホームの畑を自ら作るなど、現場の状況や介護の質の改善に強い関心を持ち続けています。</p> <p>改善の余地があると思われる点 (記述式)</p> <p>食事に加わるのは検食係りが一人だけです。入居者だけの食事になると、会話が滞りがちです。食がすすまない人には、押し付けにならないよう配慮しながら勧めることも必要でしょう。食事はホームの生活で大切な要素ですから、もっと積極的に職員が関わる必要があると思います。職員が入居者に直接接する時間を取るために、介護記録を簡素化されているとのことですが、ケアプランの評価を行うためには評価の根拠となる日々の観察事項をもう少し記録した方が良いと思います。集団でのレクリエーションなどせず、入居者のやりたいことをさせることは良いことだと思いますが、ADLが低下した入居者が見られます。対策が必要と思われます。1階と2階のコット間で情報のやり取りがほとんど見られませんでした。交流や職員の意見交換は必要だと思います。</p>
--

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	(記述式で回答) これまでの個々の入居者の歴史を否定せず、安全でのんびりした「普通の生活」を目指しています。日常生活の流れは、入居者が中心で、入居者の意に反したレクリエーションやリハビリが押し付けられることはありません。トイレに自力で行くことや、料理、洗濯物たたみなどの生活リハビリを自然に日常生活に取り入れることで、残存能力の維持に努めています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) かわいくおとなしいうさぎが飼われており、入居者に人気で心を癒しています。入居者中心の生活がかけられ、管理的態度を廃し、玄関の鍵もかけられていません。職員も入居者に積極的に言葉かけをしています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人で行えることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	ブライトを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買ひ物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 大規模施設でありがちな、効率重視で画一的な日課はありません。飲酒や喫煙も自由で、昼間は玄関が施錠されていないなど、入居者をしる制限はできるだけ除くように努めています。利用者のこれまでの生活背景を考慮した声かけや介護が行われています。料理、洗濯物たたみ、トイレ、食事などの動作を通じて自然に生活リハビリが行われています。また各居室にはのれんが掛けられ、ドアを開けて中が見えにくいようにしています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	管理者は、職員一人ひとりが管理者と同等の役割を果たせるように、職員の自主性を尊重し、職員からの提案は否定せず、できるだけ取り入れるように心がけています。理念を共有できる職員を採用するために、あらかじめホームで研修を受けてもらうようにしています。職員は自主性に富み、自ら進んで必要な知識を本を読むなどして得る努力をしています。		